

# まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 168

令和2年(2020)  
5月2日

- 令和2年度当初予算を可決
- 令和元年度一般会計補正予算を可決
- 新型コロナウイルス感染症拡大対策を含む補正予算を可決
- 「市内造船事業に関する調査特別委員会」を設置
- 小学校議会学習会を開催

主 な 内 容	令和2年度予算の概要	2
	常任委員会の審査報告	4
	各会派討論の内容	6
	議案の採決結果	8
	代表質問	10
	議会本部を開設	11
	一般質問	12
	6月定例会予定	19
	小学校議会学習会を開催	20

議会だよりはこのコード  
からご覧いただけます。



まちの未来を担う子どもたち  
議会を身近に

(小学校議会学習会より) P20関連記事



# 令和2年度当初予算642億3447万円 心が通う便利な田舎暮らしの実現 ～3つのまちづくり戦略～

令和2年  
3月定例会  
のあらまし

- 心が通う便利な田舎暮らしの実現に向けた令和2年度当初予算を可決
- 新型コロナウイルス感染拡大対策を含む令和元年度補正予算、令和2年度補正予算を可決
- JMU舞鶴事業所の商船部門撤退を受け、その影響を調査し、必要な措置を検討するため、「市内造船事業に関する調査特別委員会」を設置

令和2年3月定例会は、2月25日から3月27日までの32日間開催されました。市長から提案された議案は、令和2年度予算9件、令和2年度補正予算1件、令和元年度補正予算4件、条例15件、その他2件の31議案。議会提案の特別委員会設置議案と合わせて32件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

## 提案された主な施策など

### 1 心豊かに暮らせるまちづくり

豊かな自然、連綿と引き継がれてきた歴史・文化、特色ある教育環境、さらに子育て環境を充実させ、市民一人一人が夢や希望を叶えられるまちづくりを推し進めるもの。

向学心のある市民がリカレント教育を受けることができる環境を構築するもの。持続可能な地域交通の在り方の検討として日本初となるバス、タクシー、住民同士の送迎を組み合わせた共生型MaaSいわゆるmeemoの実証実験を行うもの。乳幼児教育では、質の高い乳幼児教育実現のため、以前から実施していた民間保育士への賃金上乘せ補助をさらに増額し保育士の人材確保に努めるもの。



大庄屋上野家

### 2 安心のまちづくり

近年、局地化・複雑化する危機事象への対応など社会課題に柔軟に対応し、国や京都府、教育機関や企業との多様な連携で将来を見据えた都市基盤づくりや福祉の充実を図るもの。

市街地の浸水対策では、京都府と連携を図りながら高野川や伊佐津川の河川整備の早期完成、東市街地の浸水対策基本計画に基づく詳細検討等を進めるもの。



大手ポンプ場の建設現場

### 3 活力あるまちづくり

地域経済の安定・活性化に向けた港湾を生かした人流・物流の活性化や中小企業者の支援、全国に誇れる農林水産業や観光関連サービスなどの産業の高付加価値化などを図るもの。

本市が有する海軍ゆかりの歴史的資源を生かした観光プロモーションを行うもの。赤れんがパーク周辺一帯を一大交流拠点として「赤れんが」[海・港]を一体的に感じられる整備を推し進めるもの。

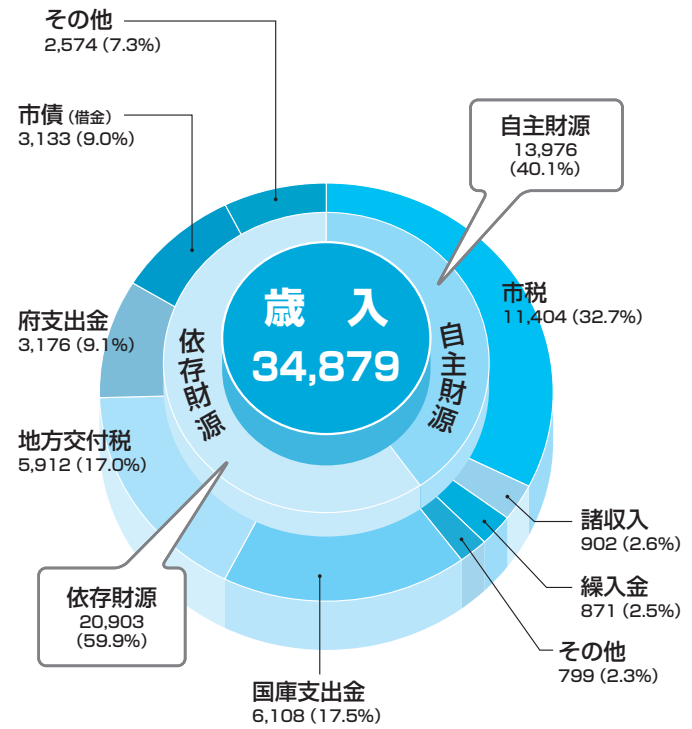
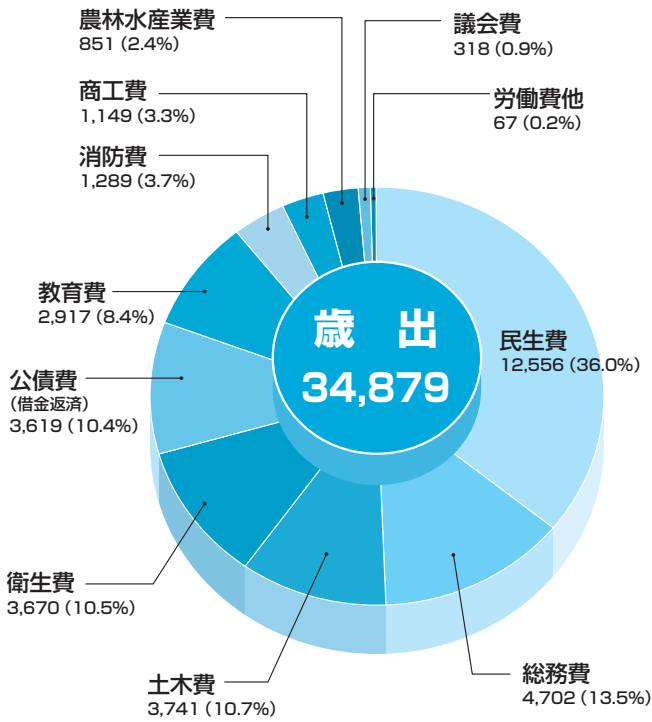
新たに創設した木質バイオマス証明材取扱者登録制度を通じ、木質バイオマスの有効利用を促進するもの。



木質バイオマス発電施設

## 一般会計予算

単位：百万円



### まちづくりに係る主な事業

#### ●心豊かに暮らせるまちづくり

(新規) 舞鶴版Society5.0 for SDGs 推進事業	6217万円
(新規) 医療的ケア児(者)支援事業	1443万円
(新規) 給食費補正給付事業 (認可保育所・認定こども園・幼稚園)	1036万円
(拡大) 予防接種事業	2億1811万円
(拡大) 障害児通所給付	2億2330万円
(拡大) 民間認可保育園、私立幼稚園の 認定こども園への移行	14億7112万円
(拡大) 施設利用費 (幼児教育・保育の無償化による利用料給付)	3億8722万円

#### ●安心のまちづくり

(新規) ハザードマップ作成事業	534万円
(拡大) 雨水処理事業 (西地区・東地区浸水対策事業)	6億円

#### ●活力あるまちづくり

(拡大) 国指定重要文化財赤れんが倉庫施設 整備に係る歴史文化資産活用経費	2493万円
(拡大) ウズベキスタン共和国への 農業技術協力など国際交流活動推進事業	1446万円
(拡大) 国際フェリー航路の活性化など 京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業	3260万円

### 特別会計予算

会計区分	2年度	元年度	伸び率
国民健康保険事業会計	78億8397万円	81億4445万円	-3.2%
貯木事業会計	104万円	103万円	1.0%
駐車場事業会計	7312万円	5156万円	41.8%
介護保険事業会計	84億6079万円	82億1460万円	3.0%
保険事業勘定	84億5462万円	82億866万円	3.0%
介護サービス事業勘定	617万円	594万円	3.9%
後期高齢者医療事業会計	14億285万円	12億8499万円	9.2%
公営企業会計	115億3412万円	118億3116万円	-2.5%
水道事業会計	35億1370万円	35億4180万円	-0.8%
下水道事業会計	69億5050万円	71億15万円	-2.1%
病院事業会計	10億6992万円	11億8921万円	-10.0%
合計	293億5589万円	295億2779万円	-0.6%

本会議において付託された議案は、福祉健康委員会2件、市民文教委員会3件、産業建設委員会7件、総務消防委員会5件、予算決算委員会14件であり、それぞれの委員会で審査しました。

### 常任委員会の審査報告

## 予算決算委員会の主な審査内容

令和元年度一般会計  
補正予算(第8号)

#### 地方創生拠点整備事業

**Q** 旧市民病院西棟の4階部分は、どのような活用を想定して整備するのか。

**A** 若者が活躍する機会の創出等を図るための低価格の宿泊施設として整備し、交流スペースも設ける予定としている。赤れんがパークのコワーキングスペースの活用と併せた相乗効果を見込む。

令和2年度一般会計  
予算(第1号)

#### 医療的ケア児(者)支援事業

**Q** 居宅生活支援事業の福祉タクシー利用券の交付限度額は、

**A** 限度額は、年2万4千円である。

**Q** 入院時コミュニケーション支援および居宅医療的ケア児支援の依頼先と支援内容は、

**A** 入院時コミュニケーション支援事業は、ヘルパー事業所に依頼し、ナースコールや、医療入院時の手伝い等を行う。居宅医療的ケア児支援は、訪問看護ステーションに依頼し、これまでの診療報酬の訪問看護に加え、ホームヘルプとして家族の休息支援を行う。

**Q** 短期入所開始アセスメント補助および相談支援専門員モニタリング補助の具体的内容は、

**A** アセスメント補助は、新規利用者の入所開始に当たっての病状等事前把握を行うことに対する補助である。モニタリング補助は、利用者の新規入所の際に、相談支援事業所の相談支援員が、利用

者の状態や状況の変化から、どういった支援が必要かを確認する業務に対する補助である。

#### SDGsシエンダー 平等支援事業

**Q** 女性相談員である理由、相談員となる資格は、

**A** 相談員は、DV等の相談、保護、自立支援の役割を担うが、本市のDV等の相談はほぼ女性からであることから、相談しやすいように女性の相談員を配置する。資格は要しないが、社会福祉に係る相談業務経験者を任用する予定であり、任用後研修等によって、より研さんしていただく。

**Q** シェルター利用等について、府との連携は、

**A** 京都府家庭支援センター、警察等と早期から連携し、情報交換しており、必要に応じてシェルターへ送る等の措置を行っている。

#### 証明書等コンビニ交付 サービス事業

**Q** 導入により市の負担が増えるのでは？

**A** コンビニ交付が定着し発行が増えると、市窓口での混雑緩和が期待でき、市民サービスの向上につながる。

また、これまで窓口で証明書の発行を担っていた職員を他の業務に移行できるなど、将来的には人件費のコスト削減も可能であると考えている。

#### ユネスコ世界記憶遺産 登録5周年・海外引揚 75年事業

**Q** 新規事業であるが、どのような事業内容か、

**A** フォーラムの開催や、音楽劇「君よ生きよ、音楽劇」君よ生きよの舞鶴公演を計画している。また、他の博物館とのつながりを生かし、合同展の開催なども考えている。若い世代、大学等と連携し、市内外、国外の若

い人に平和の尊さを訴えていきたい。

#### 国際交流活動推進事業

**Q** 新規事業としてウズベキスタンに農業技術協力をされるが、具体的にどのような協力を行うのか。

**A** 茶の栽培技術をウズベキスタンのリシタン市に提供する。ウズベキスタンではお茶をよく飲む習慣があるため、自国栽培ができるよう、技術協力を行う。

#### きょうと地域連携交付金

**Q** 充当可能な範囲は、

**A** 府と市、市町村間の連携に重点を置いた交付金で、広く活用できる。

#### A・ロボティクス 業務効率化推進事業

**Q** A-I-O-C-RおよびRPAのランニングコストは、

**A** 年間553万3千円である。

#### 令和2年度 水道事業会計予算

**Q** 水道業務委託に係る入札の結果は、

**A** 2件の業務委託については、いずれも公募型プロポーザル方式で行った。操業の委託については2つの企業体から申し込みがあり、アイテック・タカダ・サイエンスマイクロ共同企業体に決定した。窓口業務委託については3社から申し込みがあり、株式会社フューチャーインに決定した。

#### 令和元年度一般会計 補正予算(第9号)

#### 新型コロナウイルス 感染症対策経費

**Q** 対象となる施設数は、

**A** 保育所と認定こども園で26施設、放課後児童クラブや子育て支援施設等で69施設の合計95施設を対象としている。

本会議において付託された議案は、福祉健康委員会2件、市民文教委員会3件、産業建設委員会7件、総務消防委員会5件、予算決算委員会14件であり、それぞれの委員会で審査しました。

## 常任委員会の審査報告

**Q** 物品の調達、施設側が行うのか。

**A** 保育所と認定こども園については、施設側が購入し、その経費の支援を行うが、放課後児童クラブや子育て支援施設等については、市が購入して配布する。



令和2年度一般会計  
補正予算(第1号)

新型コロナウイルス  
感染症緊急特別対策  
利子補給金

**Q** 国や府の融資制度を活用して借入れを行えば自動的に利子補給も受けられる仕組みになるのか。

**A** 融資の実行とは別に市に対して申請いただき、要件である売上高等の減少幅を確認して利子補給を行う。

### 常任委員会の主な審査報告

#### 福祉健康委員会の 主な審査報告

国民健康保険条例の一部を改正する  
条例制定

国民健康保険法施行令の改正に準じ、保険料の賦課限度額および減額措置に係る所得基準をそれぞれ改定する等所要の改正を行うもの。

**Q** 今回の改正の影響を受ける世帯数は。

**A** 令和元年度データから積算すると、約1万1千世帯中、約7500世帯が負担軽減となるが、約90世帯が負担増加になると見込まれる。

#### 市民文教委員会の 主な審査報告

学校給食運営基金  
条例制定

特定防衛施設周辺整備調整交付金を学校給食の運営に要する経費の財源に充てるため、基金を設置するもの。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として市立小中学校の臨時休業措置に伴い、小中学校の給食を休止したことから、財源として充当予定であった同交付金の一部を基金に積み立てる。

#### 産業建設委員会の 主な審査報告

公営住宅法及び住宅  
地区改良法による  
舞鶴市営住宅等管理  
条例の一部を改正する  
条例制定

入居手続きにおける連帯保証人の義務付けを廃止するもの。また、入居時の敷金について、住宅の明け渡し前でも未納家賃等に充当できるように改正するもの。

**Q** 連帯保証人の義務付けを廃止することで生じる課題への対応は。

**A** 入居時に緊急連絡先を届け出てもらい、いざという時の連絡先を確保するとともに、入居時に預かった敷金を未納家賃に充てられるようになったことから、これらを適切に利用して、課題の解決を図っていききたい。

#### 市営店舗住宅条例を 廃止する条例制定

店舗付き市営住宅である市営住宅浜団地について、1階部分の店舗付き住宅部分もあわせて用途廃止するため、条例を廃止するもの。

**Q** 浜団地の跡地は、どのように活用するの

**A** 隣接する八島公園と一体的に広場として活用する。

#### 総務消防委員会の 主な審査報告

舞鶴市職員の給与に  
関する条例の一部を  
改正する条例制定

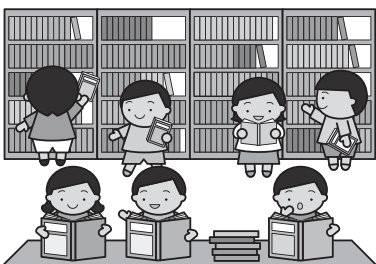
国家公務員の給料水準との均衡を図るため、令和2年度において一般職の職員で職務の級が6級以上であるもの、すなわち課長級以上の職員に対する給料の減額措置を実施するもの。

**Q** 今回の措置で影響を受ける人数と金額は。

**A** 127人が対象となり、影響額は、総額約1860万円と試算している。

教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例制定

教育に関する事務のうち、図書館、博物館および公民館の設置、管理および廃止に関することを、市長が管理し、執行することができるとする規定を追加するもの。



討 論

令和2年3月27日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

病院事業会計に反対



会派に所属しない議員  
田村 優樹

今定例会に上程され

た第4号議案および第13号議案に反対の立場で討論する。第4号議案令和2年度舞鶴市病院事業会計予算は、上下分離、新旧分離方式をもって収支差額補助を廃止する方針であるが、新たに発生する補助額は幾らか、果たして有効的、恒久的に機能するのか、その効果を見極める意味で現段階では承認できない。

職務権限の条例改正に反対

第13号議案は、社会教育機関の設置等に関する事務



十分な議論を

を市長が管理し、執行するための提案と理解する。公立社会教育を所管する場合にあって、関係機関と特段の議論もせず全員異議なく承認では教育委員会の権限に属する事務を自ら放棄したことになる。教育の実施については、

時の政治権力に左右されないこと、政治的中性の確保が要請されるという教育委員会の存在趣旨が、図書館行政においても同様のレベルで要請されるべきであり、十分な議論がなされないままでの条例改正は賛同できない。

持続可能な健全財政の強化を評価する



新政クラブ議員団  
野瀬 貴則

上程された全議案に

対し賛成する。令和2年度一般会計予算は、厳しい財政状況の中、さまざまな財源の積極活用と、財源構成の改善を行いながら、経済事情の変動や、災害等にも対応できる体制を整え、健全で持続可能な財政基盤を、将来世代に引き継ぐ責任を果たすべく編成された予算であり、高く評価する。舞鶴版 Society 5.0 for SDGs 推進事業として、共助による移動手段である共生型Maas、いわゆ



ICT活用の水位計による防災減災システム

る memo の実証実験や、ICTを活用した防災・減災システムなどの取り組みにより、将来につながる多様な連携の輪が広がり、「便利な田舎暮らし」の実現が進む。医療的ケア児(者)と、その看護に関わる家族への支援として、「医療的ケア児支援担当課長」が新たに配置され、居宅生活支援・短期入所利用促進事業・非常用発電機の給付等を行う「医療的ケア児(者)支援事業」が予算化された。柔軟な対応と今後の展開に期待する。

厳しい市民生活応援をまず優先すべき



日本共産党議員団  
伊田 悦子

8議案に反対。残る

議案は賛成。人口減少やJMU舞鶴事業所の商船事業撤退などで厳しいときだからこそ「住民の厳しい生活実態に寄り添い支援する予算編成」になっているのか、この立場でしっかり審査した。一般会計予算では観光戦略拠点「赤レンガパーク」を核とした整備事業等は問題あり。観光施策を否定はしないが、税金の使い方や政策の優先順位が間違っている。優先されるべきは



厳しいやりくり

市民の暮らし・営業の応援である。あらたな市民負担増に反対 上下水道料金の値上げ、国保料・介護保険料・後期高齢者医療保険の値上げに関する議案は、市民の暮らしがますます厳しくなる中で負担増には反対し、市独自の支援策の強化を求める。市職員一般職6級以上の給与減額措置をする条例改正には反対。さらに、本来、教育委員会の所管であったものが、市長部局に移管される条例改正は、教育委員会の独自性が薄れ市長権限が強くなることは問題があり反対。

令和2年3月27日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

討 論

今こそ真のリーダーシップを発揮する時

討論

会派に所属しない議員  
鴨田秋津



今定例会に上程された全議案に賛成する。

これまで市政は「交人口10万人」を目指していたが、昨年夏に内閣府のSDGs未来都市選定のころから「心を通う便利な田舎暮らし」という言葉が使用されるようになり、市民生活の充実を重視する方向へ転換したと認識している。その実現に向けて示された、3つのまちづくり戦略を考察すると、第1の「心豊かに暮らせるまち

づくり」では子育て環境など未来への投資に重点が置かれている。第2の「安心のまちづくり」では、近年多発する災害に備えた、防災対策の強化などに重点が置かれている。第3の「活力あるまちづくり」では、赤れんがパーク周辺一帯の整備や、農林水産業の振興などが施策となっており、その内容を反映させた予算に賛成する。最後に、JMUの船舶部門の撤退、新型コロナが与える影響は計り知れないが、今こそ市長には真のリーダーシップを期待する。

「子育て環境など未来への投資に重点が置かれている。第2の「安心のまちづくり」では、近年多発する災害に備えた、防災対策の強化などに重点が置かれている。第3の「活力あるまちづくり」では、赤れんがパーク周辺一帯の整備や、農林水産業の振興などが施策となっており、その内容を反映させた予算に賛成する。最後に、JMUの船舶部門の撤退、新型コロナが与える影響は計り知れないが、今こそ市長には真のリーダーシップを期待する。



期待される子育て環境日本一

あらゆる財源確保で行政サービスを充実

討論

公明党議員団  
小谷繁雄



今定例会に上程された全議案に賛成する。

令和2年度一般会計予算は、歳入の根幹である市税において、火力発電所など償却資産による大幅な減額が続く。本市の厳しい財政状況の中、補助金を活用した清掃工場の整備や各所管でも必要な財源確保した事業展開を評価する。市債では、建設地方債の発行額を元金償還額以下にし、基金では、繰入額を減額するなど財政規律の努力を評価する。今後とも、あらゆる財源の確保に

努力、さらなる行政サービスの充実に期待する。民間企業や教育機関と連携し、AI・IoTなど先進技術の積極的な導入による舞鶴版Society5.0 for SDGs推進の取り組みが、市民の満足度をさらに高め、地方創生のモデル事業となるよう期待する。

努力、さらなる行政サービスの充実に期待する。民間企業や教育機関と連携し、AI・IoTなど先進技術の積極的な導入による舞鶴版Society5.0 for SDGs推進の取り組みが、市民の満足度をさらに高め、地方創生のモデル事業となるよう期待する。

にぎわいの拠点整備が進む

国において、旧市民病院西棟の改修工事が採択され、令和2年度に改修工事、令和3年度に供用開始となる。文庫山学園と東公民館の移転など市民が集うにぎわいの拠点となる整備を高く評価する。



令和3年度供用開始(旧市民病院西棟改修)

持続可能なまちづくりの基盤を評価

討論

創政クラブ議員団  
尾関善之



今定例会に上程された全議案に賛成の立場で討論する。

令和2年度予算編成に当たっては、市税が減少傾向に推移する中、社会保障費関係や度重なる台風、豪雨などの自然災害への対応など財政を取り巻く環境の変化を踏まえ既存事業の見直し、各部への枠配分方式など歳出抑制に加え、国・府などの交付金や企業版ふるさと納税など新たな財源確保による持続可能な財政運営に向けた予算として評価する。

新たな事業、経営、継承を支援する「商工振興担当課長」、地域エネルギーギー施策を統括・推進する「地域エネルギー推進担当課長」など、新たに担当課長を配置するとともに、不転とした「目指すべきまちの将来像」実現予算として、高く評価し、賛成する。

まちの将来像に期待

さらに3つのまちづくり戦略の実現に向けて、共生社会における公共交通に向け「交通政策担当課長」、行政サービスを一体的に推進するために「医療的ケア児支援担当課長」、



動き出した大手ポンプ場

令和2年2月25日および3月27日の本会議での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市のホームページでも公表しております。



### 全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市の職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市の市長及び副市長の給与に関する条例及び舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 公営住宅法及び住宅地区改良法による舞鶴市営住宅等管理条例の一部を改正する条例制定について
- 松尾寺駅前観光交流施設条例の一部を改正する条例制定について
- 市道の構造の基準に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 豊かな森を育てる基金条例の一部を改正する条例制定について
- 市営店舗住宅条例を廃止する条例制定について
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 印鑑条例の一部を改正する条例制定について
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 学校給食運営基金条例制定について

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択

【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

田畑篤子	仲井玲子	野瀬貴則	眞下隆史	水嶋一明	伊藤清美	尾関善之	川口孝文	肝付隆治	高橋秀策	谷川眞司	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	鴨田秋津	田村優樹	西村正之	議決をした日
新政	新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	無党派	無党派	無党派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	3月27日

☆舞鶴市議会の議員定数は26人です。



# 議案の採決結果

(令和2年3月定例会) 会期:2月25日~3月27日

## 全会一致で可決した予算議案

- 令和2年度貯木事業会計予算
- 令和2年度駐車場事業会計予算
- 令和元年度一般会計補正予算(第7号)
- 令和元年度国民健康保険事業会計補正予算(第3号)
- 令和元年度一般会計補正予算(第8号)
- 令和2年度一般会計補正予算(第1号)
- 令和元年度一般会計補正予算(第9号)

## 全会一致で可決したその他の議案

- 辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定について
- 市道路線の認定について

## 全会一致で可決した議員提出議案

- 市内造船事業に関する調査特別委員会の設置について



## 賛否が分かれた議案

議員名簿等(会派内は五十音順)		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	今西克己	上野修身	鯛慶一
								新政	新政	新政
議案名等										
市長提出議案	令和2年度一般会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	令和2年度水道事業会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	令和2年度下水道事業会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	令和2年度病院事業会計予算	26	25	23	2	0	可	○	○	○
	令和2年度国民健康保険事業会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	令和2年度介護保険事業会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	令和2年度後期高齢者医療事業会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	舞鶴市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	26	25	20	5	0	同	○	○	○

【会派】 新政…新政クラブ議員団、創政…創政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、無会派…会派に所属しない議員

令和2年3月6日に本会議を開き、4人が代表質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

代表質問

令和2年 舞鶴市議会3月定例会代表質問

令和2年3月6日

順番	会派名及び氏名	質問事項	
1	新政クラブ議員団 田畑 篤子	1 感染対策について	2 JMU舞鶴事業所について
		3 これからの舞鶴の医療体制の深化について	4 子育て支援について
2	公明党議員団 松田 弘幸	1 JMU舞鶴事業所について	2 新型コロナウイルスについて
		3 子育て環境について	
3	創政クラブ議員団 山本 治兵衛	1 市政運営方針について	2 舞鶴市の人口増加について
		3 経済人口10万人について	4 東京五輪について
		5 舞鶴市の災害に対する備えについて	
4	日本共産党議員団 小杉 悦子	1 喜多地区のパーム油発電所の建設計画について	2 JMU舞鶴事業所の商船撤退と本市の経済と雇用などへの影響について
		3 新型コロナウイルスによる肺炎対策とクルーズ船誘致について	4 国民健康保険について

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。  
※代表質問については、質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める方式のみとなっています。



**答弁** 京都府北部医療圏での再編計画に基づき、各病院が特色ある機能を生かす役割を果たすべく、また、市の役割とは何かについて問う。



選択と集中、分担と連携

**質問** 現在の舞鶴市の医療について、どのような社会状況でこの現実を迎えているのか、舞鶴の医療はどこに向かっているのかを市民に正しく理解していただきたい。また、市民の皆さまにも舞鶴の病院の誇りある歴史を絶やすことなく未来に引き継ぐために、自分たちができることは何かを考えていただく時期にあると考える。京都府北部医療圏の視点で、設置主体が異なる4病院はどのような存在として今後の役割を果たすべきか。

してセンター化を図り連携することにより地域医療の確保に努めているが、さらなる診療機能の集約化を進め、役割を明確化とすることは避けられないと考える。救急医療体制維持に向け、コンビニ受診の抑制などの市民啓発や10月スタートの救急受診安心センター「#7119」の周知に努める。

**答弁** 本市の基幹産業の最重要企業として地域経済の活性化や雇用の創出に多大な貢献があり、また、造船協力会社をはじめ



JMU舞鶴事業所

**質問** JMUの舞鶴事業所での商船建造撤退が正式に発表された。舞鶴事業所で働く約450人のうち、商船部門に携わる約300人と、多くの関連企業が本市に与える影響について問う。また、舞鶴事業所は日本海側唯一の造船所であるため、国を挙げて守るべきである。今後の市の対応および事業所従業員を含め、影響を受けるすべての雇用者への雇用対策と関連企業への支援等の考えを問う。

**答弁** め、金属加工・塗装等幅広い関連企業があるため、与える影響は大きい。府と協力し、商船部門に従事する人の雇用を確保するとともに転職にはサポートを行う。また、商船部門に代わる新たな事業の導入を要請しているほか、特別相談窓口を設置し、総合的な支援体制を取り、今後、専従職員を配置し、市を挙げて対応していく。

代表質問

**Q** これからの舞鶴の医療体制の深化を問う

**A** さらなる診療科目集約化への支援を行う



新政クラブ議員団  
田畑 篤子

代表質問

**Q** 商船撤退による従業員や関連企業支援を

**A** 特別相談窓口を設置し総合的に支援する



公明党議員団  
松田 弘幸

令和2年3月6日に本会議を開き、4人が代表質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 代表質問

代表質問

**Q** 大きな3つの課題は

**A** 全員野球で解決



創政クラブ議員団  
山本治兵衛

**質問** 本市が抱える大きな課題として、市内造船業商船部門の撤退や新型コロナウイルスによる経済打撃、P&M油発電所誘致の3つがある。商船造船部門の撤退は培った技術を有する舞鶴の衰退であり、海洋国家日本の衰退である。また、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大する中、クルーズ船の帰港中止が発表されるだけでなく、イベント自粛や物資不足もあり、経済損失は大きい。さらにP&M油発電所については他地域で起きた環境問題が住民に不安を呼んだ。解決すべきであるが、市の考えを問う。

**答弁** 本市が抱える3つの課題解決について



JMU舞鶴事業所は、これからは舞鶴市の基幹産業であるべき

て、市民生活を守るのは市役所の役割であり、地域経済の活性化や雇用の確保、住民福祉の向上に努め、府や商工会議所等の機関や地域住民との連携を密にし、喫緊の課題に市を挙げて積極的に取り組むたい。特に造船関係において影響を受ける方への雇用対策と関連企業の支援等について、しっかりと対応する。

代表質問

**Q** P&M油発電所親書は考慮・研究の上か

**A** 私が発信した何ら問題ない



日本共産党議員団  
小杉悦子

**質問** 平成28年4月に市長は、日立造船に対して「発電所立地に際しては是非とも本市を選定いただきたい」旨の親書を送られた。市長として住民生活への影響を考慮や研究等をされてのことか問う。また、市の見識が問われる問題であるため、一度立ち止まって再考されるべきではないか市長に問う。

**答弁** 既存の重油を使った発電所をやめられるということについて、何とか今後も引き続きやっていただけないかと、私が発信し、担当部署に指示して、手続きを取ってやったことであり、何ら問題ない。

代表質問

**Q** 意思疎通はどう進めるのか

**A** 不安で質問する方に説明

**質問** 住民との意思疎通を大切にしたいとどの住民説明会でも堤副市長は話されている。今後、住民との意思疎通をどのように進められるのか問う。

**答弁** 四所地区の自治会長に集まっていたのの説明会や、喜多地区の検討委員会など、「不安だ、質問したい」という方に丁寧に説明して、理解いただきたいと思っている。



すべての住民に丁寧な説明を

## 新型コロナウイルス感染症 拡大防止に向けた議会としての対応

新型コロナウイルス感染症については、感染者が大幅に増加し、国において「緊急事態宣言」が4月7日に発表されました。そのような中、舞鶴市議会においても舞鶴市新型コロナウイルス感染症対策本部の設置を受け、「舞鶴市議会の災害対応（平成28年10月策定）」に準じ、「舞鶴市議会災害対策・支援本部（議会本部）」を開設いたしました。

今後とも執行機関と連携し、議会として、この緊急事態に次のとおり対応してまいります。

- 会議の傍聴については、自粛を要請する。
- 常任委員会および特別委員会の行政視察は、当面の間、実施を見送る。
- 「市民と議会のわがまちトーク」については、当面の間、実施を見送る。
- 議会および議員活動において、不特定多数の参加が見込まれる会合等への参加や不要不急の首都圏等への往来を見合わせるなどの対応を徹底する。
- 議会としての対応や注意喚起について広報、周知および情報収集を行う。

詳しくは、ホームページをご覧ください。



令和2年3月6日、9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

令和2年 舞鶴市議会3月定例会一般質問

令和2年3月6日、9日、10日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	一問一答	眞下 隆史	1 市内既存企業の活性化について	
			2 SDGsの活用について	
2	一括	小西 洋一	1 学校教育環境の充実について	
			2 舞鶴市の財政について	
3	一問一答	川口 孝文	1 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の対応等について	
			2 自主防災組織の現状と対応について	
4	一括	杉島 久敏	1 骨髄バンクドナーについて	
			2 マイナンバーカードについて	
5	一問一答	鴨田 秋津	1 子育て環境日本一を目指すまちについて	
6	一問一答	野瀬 貴則	1 コミュニティ・スクールについて	
			2 森林管理と林業の活性化について	
7	一問一答	伊田 悦子	1 夢・未来・希望輝く「舞鶴っ子」育成プランについて	2 「ジェンダー平等」の社会の実現に向けた本市の取組について
			3 障害者の生活の場の確保について	
8	一問一答	肝付 隆治	1 京都舞鶴港のエネルギークラスター化とまちづくりについて	
			2 高齢者が自立した生活を送るための対策について	
9	一括	小谷 繁雄	1 学校におけるICT化について	
			2 本市の就労支援について	
10	一括	田村 優樹	1 教育環境について	
			2 地域医療の展望について	
11	一括	仲井 玲子	1 赤れんが周辺等まちづくり事業について	
			2 道徳教育について	
12	一問一答	石束 悦子	1 消費税10%増税が市民生活に及ぼす影響について	2 地球温暖化防止対策について
			3 原発ゼロを目指すことについて	
			4 小学校給食について	
13	一括	尾関 善之	1 西市街地における総合的治水対策の促進について	2 不登校対策について
			3 空き家対策について	
14	一括	西村 正之	1 児童福祉施設の土地問題について	
15	一括	水嶋 一明	1 生涯スポーツの推進について	
			2 災害対応の充実強化について	
16	一括	高橋 秀策	1 2025年問題に係る高齢者施策について	2 赤れんが周辺等まちづくり事業について
			3 LNG基地について	
			4 教育について	
17	一問一答	上野 修身	1 森林の現状と課題について	
			2 マイナンバーカードについて	
18	一括	谷川 眞司	1 企業誘致活動について	2 コワーケーション事業について
			3 海軍ゆかりの港めぐり遊覧船について	

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。



令和2年3月6日、9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問

一般質問

**Q** パーム油発電所立地に市はどう関わるか

**A** 立地促進の立場で正しい情報を説明する



新政クラブ議員団 眞下 隆史

**質問** パーム油発電

所に関して、住民への丁寧な説明が必要と考えられるが、開催された計5回の説明会を経て、新たな改善策などが検討されているのか。現状多くの反対運動が展開されているが、これからも企業が頑張れる自治体を目指し、ま

**答弁** 騒音対策として、新たに発電所西側に盛り土や中低木の植栽を検討する。窒素酸化物対策として、新たに時間当たりの総排出量を抑制し、排出濃度を改善するよう検討す

る。住民の皆さまの不安を払拭するため、立地促進してきた立場で正しい情報を丁寧に説明し、不安解消促進につながるよう市の役割として取り組む。



パーム油発電所建設予定地

一般質問

**Q** 学校近くでの発電所建設は不適格では

**A** 立地基準も子どもたちの健康も問題ない



日本共産党議員団 小西 洋一

**質問** 喜多地区に建

設計画中のパーム油発電所は、ディーゼルエンジンが24時間ほぼ毎日稼働し、タンクローリー車の往来、騒音や臭気の心配もある。また、送電ルートは小学校の校門前の地下を通り、子どもたちへの電磁波の影響も心配される。文科科学省の小学校施設整備指針から見ても建設は不適格ではないか。教育委員会として、市に再検討を要請すべきと考えるがどうか。

**答弁** 車両の通行や騒音、臭気、電磁波の状況は、各基準を逸脱するものではないことから、計画の再検討を要する考えはない。

**事業所訪問で知恵を集めよ**  
**Q** 連携の上、施策に反映する

**質問** 人口減少やJMU舞鶴事業所の商船撤退などによる市内経済への影響が深刻。こんな時にこそ、全職員による全事業所訪問で、市内企業の「努力と知恵」を集め政策化することが必要では。

**答弁** これまでから、担当職員が府や関係機関と連携して企業訪問し、強みやノウハウの把握に努めている。引き続き関係機関と連携し、事業者の声を必要な施策に反映していく。



子どもたちに快適な教育環境を

一般質問

**Q** 「自主防災組織」結成の狙いを問う

**A** 災害から地域を守る地域防災力の向上



創政クラブ議員団 川口 孝文

**質問** 阪神・淡路大

震災で倒壊した建物から脱出できた方々の多くは、自力または家族や近隣の方の助け、いわゆる自助、共助によって脱出できたといわれている。東日本大震災のような大規模広域災害では、行政機関なども被災する恐れがあり、公助にも限界があるとされ、防災や減災に自主防災は不可欠と再認識されたところである。

あらためて、本市の「自主防災組織」結成の狙いを問う。

**答弁** 自主防災組織は、地域住民が災害から地域を守るために結成する組織である。平時は①防災知識の普及②災害危険箇所の把握③防災訓練の実施など



原子力防災訓練の一コマ

に、災害時は①情報収集・伝達②地域住民の避難誘導③避難所運営などにあたることになる。災害から地域を守るには、地域の方々が協力して防災活動に取り組む自主防災組織の活動が大きな役割を果たすこととなる。

自主防災組織の設立・運営の支援、地域防災力の向上に努めていく。

令和2年3月6日、9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

**Q** マイナンバーカードに  
本市独自の制度を  
カード保有のメリット  
拡充で普及を促進



**質問** 市民の立場からするとマイナンバーカード取得による明確なメリットがなければ申請する動機が生じず交付に至らないケースがあるのではないかと。そこで、マイナンバーカードに本人確認の証明書としての利用以外に、図書館カードとしての利用やタクシードケットとしての利用方法などを検討されてはどうか。また、キャッシュレス化への対応を含め、マイナンバーカードの申請・取得に關して本市独自の制度を導入するなど利便性の向上を図る取り組みを進めるべきであると思うが、

**答弁** マイナンバーカードはICT技術を使って各種サービスを受けるツールとして、国、地方公共団体、民間において利活用が検討・実施されている。新年度から「マイナンバーカード普及・利活用促進担当課長」を配置し、市民に有効な利活用方策等を組織横断的に検討・実施することで、カード保有のメリットを拡充し、普及につなげる考えである。



マイナンバーカード普及促進の広告

**Q** 保育士不足解消に向けた市の考えは  
保育士の給与改善や  
負担軽減に努める



**質問** 待機児童や入所待ちが発生する主な原因は保育士不足である。子育て環境日本一を目指すまちとして、常勤保育士へのさらなる支援はもとより、非常勤などの方にも市独自の支援が必要である。給与補助については、現行の1人当たり月額8千円を1万2千円に上げ、かつ常勤のみならず非常勤も対象として4月より実施していくとされているが、給与以外の対策を問う。

**答弁** 保育の質を確保しながら保育士の業務負担を軽減していく。そのために、保育日誌などの書類を効率的に作成できるシステムの導入など、ICT化をさらに促進していく。

**質問** 子どもの貧困の解決策はNPO法人などとの連携

**質問** 子どもの貧困は深刻であり、市は重要な問題として施策を展開しているが、行政だけでは限界がある。NPO法人などへの支援・連携が必要と考えるが市の考えを問う。

**答弁** 対策を総合的に進めるには、行政のみならずNPO法人などとの連携は大変重要であり、今後、支援・連携をしていきたい。



SDGsの目標1は貧困をなくそうである。日本の子どもの7人に1人が貧困状態

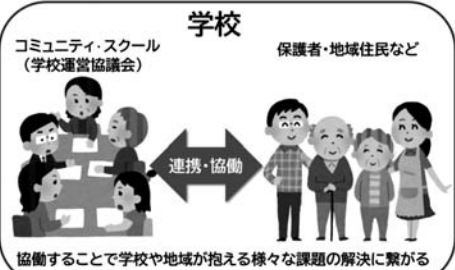
**Q** コミュニティ・スクールでの市の役割は  
学校と地域が一体となるサポートを担う



**質問** 本年度で市内全ての小学校にコミュニティ・スクール(学校運営協議会)が導入されたが、この取り組みが現場の方々の新たな負担になつてはならないと考える。設置目的は、学校運営に地域が積極的に入り、さまざまな取り組みを担うことで、学校運営に関わる人の負担を軽減することであり、それにより子ども達に質の高い教育を提供することにある。そのためには市が積極的に取り組みの後押しをすることが重要である。市としてのような役割を担うべきと考えているか。

**答弁** 本市においては、小中一貫教育をより効果的に進めていくため、保護者や地域の方が一緒になって、協働で学校を支えていく仕組みとして設置を行った。地域の声を積極的に生かし、特色ある学校づくりを進めていく中で、教員や保護者の負担軽減についても議論いただいている。教育委員会としてもしっかりとサポートする役割を担っていく。

**質問** 本年度で市内全ての小学校にコミュニティ・スクール(学校運営協議会)が導入されたが、この取り組みが現場の方々の新たな負担になつてはならないと考える。設置目的は、学校運営に地域が積極的に入り、さまざまな取り組みを担うことで、学校運営に関わる人の負担を軽減することであり、それにより子ども達に質の高い教育を提供することにある。そのためには市が積極的に取り組みの後押しをすることが重要である。市としてのような役割を担うべきと考えているか。



コミュニティ・スクールの概要

令和2年3月6日、9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問

一般質問

**Q** 保育士の処遇改善で保育士不足の解消を

**A** 賃金補助を月額1万2千円に増額する



日本共産党議員団  
伊田悦子

**質問** 令和2年度の保育所等の入所において待機児童の発生が見込まれるとされ、その要因は保育士不足とされた。その解消に向けた予算では、どのように反映されているのか。

**答弁** 保育士に対する賃金上乘せ補助を令和2年4月以降、現行の月額8千円から1万2千円に増額する。

**Q** フレアス舞鶴の機能強化を

**A** 多くの団体と取り組み整備

**質問** ジェンダー平等社会を実現する上で、フレアス舞鶴の果たす役割は大きく、女性ネットワークの会が果たしてこられた役割も大きい。今後体制は変わるが、今日まで女性



中総合会館5階フレアス舞鶴

ネットワークの会が築いてこられた活動が後退するようなことがないよう、ネットワークの会の皆さんの意見や要望を聴く必要があると考えるがいかがか。

**答弁** ネットワークの会には、電話相談や面接相談、保育サポート養成講座等の人材育成や意識づくりの学習・啓発事業など男女共同参画社会の推進に寄与していただいている。これまで以上の取り組みを多くの団体とできるよう整備する。

一般質問

**Q** エネルギークラスター化で新産業導入を

**A** 関連産業の企業立地と市内企業の転換で



創政クラブ議員団  
肝付隆治

**質問** 今後の新産業として期待されるものにバイオマス発電やLNG基地誘致などのエネルギークラスター化の取り組みがある。バイオマス発電施設や排熱利用施設などエネルギー関連産業の拡充が進められると思うが、その方針を問う。

**答弁** 京都舞鶴港でエネルギークラスター化を進めることは、企業誘致戦略の新たな重要施策を打ち出せることになる。今後は、従来の製造業、物流業に



京都舞鶴港の将来像(イメージ)

加え、エネルギー関連の視点も踏まえながら企業誘致活動に努める。

**Q** 地域新電力事業の目的は

**A** 経済・社会・環境相乗効果

**質問** 2025年を目標に地域新電力事業の立ち上げが計画されているが、その目的と設立形態を問う。

**答弁** 地域新電力事業は、地域密着型の小売電気事業であり地域内の再生可能エネルギー等の活用による環境価値の創造など「経済」「社会」「環境」の三側面に相乗効果が期待されている。自治体が出資する自治体新電力の設立が相次いでいるが本市では民間主導が最もよいと考えている。

一般質問

**Q** 学校におけるICT化をどのように

**A** 令和2年度から5年度整備を進める



公明党議員団  
小谷繁雄

**質問** 文部科学省のGIGAスクール構想に基づき、令和5年度までに小中学校の全学年の児童生徒に対する1人1台の端末と校内通信ネットワークの整備を目的とし、令和元年度補正予算において2318億円の経費を計上した。これまで自治体の一般財源に委ねていたことに比べ、画期的な政策転換であり、整備を加速化する必要がある。本市の見解を問う。また、障害のある子どもたちにこそ優先的に端末を提供すべきと考えるがどうか。

**答弁** 整備がゴールではなく、ICTを活用した授業改善を図

り最大の効果を上げるため、教職員の研修も含め取り組む。端末は令和2年度から段階的に整備し、令和5年度に全児童に整備する。高速大容量の通信ネットワークは、令和2年度中に全小中学校において整備を進める。特別支援学級の端末は、障害のある児童の特性に応じた学ぶツールとして有効と考えており、配備を優先的に行い、効果的な活用を図る。



ICTを活用し児童生徒の創造性を育む

一般質問

令和2年3月6日、9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

**Q** 地域医療の展望、  
統合・再編を問う  
**A** 府北部全体の中で  
完結させる



会派に所属しない議員  
田村 優樹

**質問** 市長の意向に  
より、「あたかも一つ  
の基幹病院のように公  
的4病院を機能させ  
る」とされてから約10  
年、市民が望んだ地域  
医療の理想と現実の溝  
はまだ深いのか、本当  
に浅くなったのかを見  
つめ直す時期にきた。  
診療機能の集約化、若  
手医師の確保、昼夜を  
問わず専門医や総合診  
療医がいる救急医療体  
制の確保を実現するた  
め、統合・再編も視野  
に入れた医療政策を進  
めなければ、  
安心・安全な  
質の高い医療  
を求める市民  
は他市へ移る  
こともあり得  
る。市長の持  
論がどう評価  
されているの

か、市民の意見を広く  
求めてはどうか。

**答弁** 地域医療の  
新たな課題に対しては、  
整備された交通網を有  
効に活用し、広域的な  
視点に立ち、府北部全  
域で考える時期にある。  
今後は、各公的病院の  
役割分担を一層明確化  
し、緊急的対応の少な  
い高度専門医療につい  
ては、府北部地域での  
完結を目指す。地域医  
療は市民の関心も高く、  
日頃から意見を聞いて  
いる。

**Q** 赤れんが周辺事業へ  
市民意見の反映は  
**A** 実施済みアンケート  
意見を取り入れる



新政クラブ議員団  
仲井 玲子

**質問** 市の職員と市  
民とが力を合わせ、本  
市の観光コンテンツと  
して再生させた赤れん  
が倉庫群だが、今また、  
赤れんが周辺エリア一  
帯として防衛省等の補  
助を使った再整備が進  
んでいる。民間活力導  
入が検討されているが、  
これまでの市民の文  
化・芸術の交流の場と  
しての役割を踏まえ、  
どのように官民連携・  
民間活力導入をされる  
のか。また、市民  
や民間事業者、赤  
れんがパーク来場  
者へのアンケート  
をどのように反映  
されるのかを問う。

**答弁** 民間活力  
の導入に当たって  
は、飲食、物販等  
の機能の充実・強  
化による観光誘

客・消費の増加、地域  
の多様な主体との連携  
による新たな交流や価  
値を生み出す視点を重  
視し、市街地との連携  
も視野に入れたエリア  
マネジメントの展開を  
考えている。これまで  
に実施してきたアン  
ケートによる意見や要  
望をしっかりと取り入  
れながら、赤れんが周  
辺等まちづくり事業に  
取り組んでいる。



交流拠点が期待される赤れんがパーク

**Q** 原発ゼロ宣言と安定  
ヨウ素剤事前配布を  
**A** ヨウ素剤は府と協議  
関係市町と同一対応



日本共産党議員団  
石末 悦子

**質問** 福島第一原発  
の放射能汚染水処理方  
法に、海洋、大気放出  
が挙げられている。今こ  
そ原発ゼロに向け姿勢  
を変えるべきでは。

**答弁** 再生可能エネ  
ルギーが主力電源とな  
るまでは、安全性を全  
てに優先することを条  
件に原発に頼らざるを  
得ない。  
安定ヨウ素剤事前配  
布は、府とも協議し、  
関係市町と連携した同  
一の対応を行う。

**Q** 給食に安全な  
小麦のパンを  
**A** 残留農薬は  
基準値以下

**質問** 現在日本の小  
麦自給率は14%。除草  
剤グリホサートが使わ  
れているといわれるア  
メリカやカナダ産の小  
麦に依存している。小  
学生には安全な小麦の  
パンを提供すべきでは。

**答弁** 京都府学校給  
食会で実施された検査  
でも、グリホサートは  
厚生労働省の基準値以  
下であり、安全性に問  
題なしと聞いている。



おいしく安全な学校給食を



令和2年3月6日、9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

**Q** 西市街地における治水対策の促進を

**A** 河床掘削、内水対策ポンプ場を整備



創政クラブ議員団 尾関善之

**質問** 現在、高野川、伊佐津川において、河床の掘削工事、護岸整備など、市民の安心安全のため、浸水被害軽減に向け積極的に推進されているが、今後の取り組みについて問う。

**答弁** 西市街地では、台風や豪雨の際には度重なる被害が発生しており、浸水被害の解消に向け、ポンプ場の整備、河川の拡幅、護岸整備など地元のご意見を聞きながら鋭意事業推進に取り組む。

と、小中学校合せて16万人になる。小学校では144人に1人、中学校では27人に1人の割合であり、大変危惧するが、本市の取り組みについて問う。

**答弁** 不登校対策については、学校と教育支援センター「明日葉」が進級指導や家庭訪問など、個々の児童生徒に寄り添った支援を行うとともに、府教育委員会認定スクール「聖母の小さな学校」を加えた3者が、さらに連携を強化し進めていく。

**Q** 不登校対策について問う

**A** 児童生徒に寄り添い支援

**質問** 不登校については、全国的に増加傾向にあり、文部科学省の平成30年の調査によ

り、全国的に増加傾向にあり、文部科学省の平成30年の調査によ



マナイ商店街の浸水状況

**Q** 児童福祉施設敷地の契約解除を問う

**A** 契約は合意により解除されたと考え



会派に所属しない議員 西村正之

**質問** 児童福祉施設に係る土地貸借契約書について、昭和37年4月1日付で取り交わされた契約書を市は、現に保有しているのか。次に、市からは「口頭合意による契約解除について本来であれば文書で取り交わすべきものであるが、口頭による合意によっても成立するので契約は、解除されたものと考え」の答弁をいただいたが、私が京都市内の弁護士に答弁内容について解釈を仰いだところ、「正規の契約書を取り交わさなければ契約を解除したことはない」との見解であった。市は、根拠とな

る証拠書類等を保有しているのかを問う。

**答弁** 土地貸借契約書について、市では昭和33年4月に締結した契約書を保有している。次に、口頭合意による契約解除については、当時の担当者が作成した事務文書に解除となった旨の記述があり、市の顧問弁護士とも相談した上で、口頭での合意により、契約解除となったと判断している。

る証拠書類等を保有しているのかを問う。



現在の児童福祉施設跡地

**Q** 災害時に自家用車の退避所を開設しては

**A** 公共施設を緊急退避所として提供できる



新政クラブ議員団 水嶋一明

**質問** 河川の増水に伴い、浸水被害が予想される地域の自家用車の退避所として、西市街地の高野川沿いや伊佐津川沿いについては、文化公園体育館駐車場や伊佐津川運動公園駐車場などを、また、東市街地の竜宮や浮島・浜地域については、旧市民病院駐車場、東舞鶴運動公園駐車場などを住民の皆さまに提供する考えはないか。

**答弁** 竜宮地区の皆さまには、東浄化センターを利用してもらう。加えて東地域は東消防署や東舞鶴運動公園の駐車場を、西地域は伊佐津川運動公園や文化公園体育館の駐車場を自家用車の緊急退避所として提供できると考えている。住民の皆さまには出水期までに、退避所の利用方法や注意事項を周知する。



災害時は伊佐津川運動公園駐車場へ

**Q** スポーツ施設の有効活用は

**A** 年間を通して開設する

**質問** 青葉山ろく公園のパターゴルフ場の冬季間利用希望者の状況を踏まえ、年間を通じて開設期間の見直しについて尋ねる。

**答弁** 積雪の少ない年が続いている状況などから、年間を通しての開設を進めていく。

一般質問

令和2年3月6日、9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



特別養護老人ホーム「やすらぎ苑」

**Q** 2025年問題に係る高齢者施策は、第7期高齢者保健福祉計画に基づき実施



創政クラブ議員団 高橋 秀 策

**質問** 国は、団塊の世代が75歳になる2025年に向けて、高齢者が住み慣れた地域で生活できるように「地域包括ケアシステム」の深化を図っている。介護サービスを提供する介護福祉施設の整備の状況、介護人材確保策を問う。

向け住宅などを計画に基づき整備している。また、修学資金貸与や助成を行い、介護人材の確保に努めている。

**Q** 道徳の評価はどうするのか  
**A** 文章により評価する

**質問** 日本人としての自覚をもって国や郷土の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心を持つことなどを目的に、小中学校で道徳の授業が行われるが、道徳の評価はどのように行うのか。

**答弁** 2025年には高齢化率約32%、75歳以上の高齢者が約1万5千500人になると見込んでいる。広域型特別養護老人ホームやサービス付き高齢者

**答弁** 一人一人の持つ良い点や可能性など多様な側面、進歩の様子などを把握し、児童の成長という視点で、文章による評価を行う。

**Q** 森林経営管理制度における取り組みは、森林環境譲与税を活用し適正管理を行う



新政クラブ議員団 上野 修身

**質問** 本市においては総面積のうち、約80%を森林が占めている。近年、木材需要や価格の低迷により森林経営に対する意欲が低下し、スギ・ヒノキなど人工林の半数が主伐期である50年生を超えているにも関わらず、適正な管理がなされず、荒廃森林が増加している。国において平成31年4月1日に森林経営管理法が施行され、森林所有者が、森林の経営管理を施行できな

環境譲与税が市町村などに交付される。この制度は、森林所有者による適切な管理が行われていない人工林を市町村が仲介役となり、意欲と能力のある林業経営者に委ね、適正管理を行うものである。森林環境贈与税における本市への本年度譲与額は、1568万円、全額譲与される令和6年度には、5300万円を見込んでいる。

きない場合、市町村に森林経営権を委ねることが可能になった。当該事業への取り組みを問う。

**答弁** 森林経営管理法の施行に合わせて森林

**答弁** 森林経営管理法の施行に合わせて森林



積極的対応を求む森林政策

**Q** 企業誘致活動を問う  
**A** 企業誘致を実現し活性化に取り組む



創政クラブ議員団 谷川 眞 司

**質問** 今回、JMUより、舞鶴事業所において商船部門から撤退し、艦船修理部門へ業務を集中すると発表された。正社員480人中約300人が、他事業所へ異動するか、または、退職をするか、地元で職を探すことになるかと考える。関連企業も市内に多数ある中、新たな就職先の確保が必要になると考える。そのような中、舞鶴市が以前から続けている企業誘致活動は、大変有効な取り組みだと考えるが、取り組みの状況について問う。

まで取り組んできた製造業や物流業、エネルギー関連産業の誘致に加え、「舞鶴版 Society 5.0 for SDGs」の実現に向けたAIやICT関連企業等の新たな産業をターゲットに、戦略的かつ積極的なトップセールス等を展開する。これにより、企業の誘致を実現し、働く場を創出するなど地域経済の活性化に取り組んでいく。

**答弁** 今後の企業誘致においては、市長が先頭に立ち、これ

**答弁** 今後の企業誘致においては、市長が先頭に立ち、これ

**答弁** 今後の企業誘致においては、市長が先頭に立ち、これ



舞鶴市企業立地ガイド

# 自主防災について、政治家からの寄附禁止 手話通訳者・要約筆記者の配置、6月定例会予定

舞鶴市議会からのお願い

## 大災害に備え

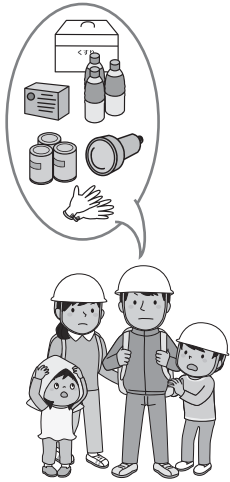
### あなたは どうします？

近年全国各地で大きな自然災害が多発しています。その時どんな行動をとるのかが、一人一人の命を守るため非常に重要です。

普段から災害を想定して避難場所や避難ルートの確認、防災グッズなどの常備も大切です。大災害では、消防や警察に救助を求めてもすぐには対応できない事例もあります。自分たちの命は自分たちで守るといふ「自主防災」や、コミュニティに根差して取り組む「地区防災」の重要性が増しています。

議会でも「自主防災力の向上」について市民の方々からご意見を伺いました。「災害に対する危機意識」や「避難に対する捉え方」など、地域によって差があります。

「我が家・我が地域は大丈夫」ではなく、いつ何時起こるか予想できない大災害に対し、地域の状況をまず知り自主防災組織づくりや、備えを充実させていきましょう。そのため議会も議員も力を尽くしていきます。



## 政治家からの寄附禁止

### 政治家の寄附は禁止！

### 有権者が政治家に寄附を求めることも禁止！

選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。

また、冠婚葬祭における贈答なども寄附になります。市民の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

※政治家本人が自ら出席する結婚披露宴における祝儀、葬式や通夜における香典については、罰則の対象から除かれています（選挙に関してなされた場合や、通常一般の社交の程度を超えている場合は処罰されます。）。

<p>地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入</p>	<p>お祭りへの寄附・差入</p>
<p>町内会の集会・旅行等の催し物への寸志・飲食物の差入</p>	<p>お歳暮・お年賀 入学祝・卒業祝・病気見舞</p>

総務省のホームページに「選挙・政治資金」について掲載されております。このコードからご覧いただけます。



## 6月定例会予定

### 5月

29日(金) 本会議(開会)

### 6月

- 5日(金) 請願受理締切
- 10日(水) 本会議(一般質問)
- 11日(木) 本会議(一般質問、質疑)
- 12日(金) (本会議(一般質問、質疑)予備日)
- 16日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 17日(水) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 23日(火) 予算決算委員会
- 29日(月) 本会議(閉会)



※一般質問が11日に終了する場合は、12日の本会議は開催されません。  
※予定は変更することがあります。

## 手話通訳者・要約筆記者を配置できます

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴する場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはメール、FAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承ください。



詳しくは  
ホームページをご覧ください。





## 小学校議会学習会を開催

令和2年1月から2月にかけて、市内4小学校（三笠、池内、中舞鶴、志楽）146人を対象に、議会学習会を開催しました。

当日は市議会の議場で児童から議員への質問などをしていただきました。

学習会を通じて、子どもたちの市議会への理解が深まればと考えております。市議会といたしましては、今後も積極的に開かれた議会に向けた取り組みを進めてまいります。



### 児童の感想から

- 議会体験をして、賛成や反対の意見を持つことができました。より良い舞鶴にしていくために、この取り組みのような話し合いは大切だなと感じました。僕は議員さんたちに安心のまちづくりを目指してほしいです。
- 議員さんはゆっくり言うことを意識していると思いました。友達を見ていて、あの場で話すだけでもとても緊張するから議員さんはすごいと思いました。反対するときと賛成するときで、しっかり根拠を持って、そして自信をもって意見を言うことが大切だと思いました。18歳になったときにしっかり選んで投票したいなと思いました。舞鶴のために働くということで、すごく誇りを持ってできるから興味を持ってました。
- 私はこれまで「議会」というものは自分と全く関係ないものだと思っていましたが、選挙権がある年齢になれば、私達も政治に関わることができるのだと思いました。今日の体験で、国や舞鶴、政治について興味を持てた良い機会になりました。